

日銀短観（2023年3月調査）予測

株式会社三菱総合研究所(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:籾田健二)は、日本銀行より4月3日(月)に公表予定の「短観(全国企業短期経済観測調査)2023年3月調査」の業況判断DI及び設備投資計画について予測を行いました。

業況判断DI(大企業・全産業)は、前回12月調査から▲1%ポイント低下の+12%ポイントと予測します。

1. 業況判断DI

大企業・製造業の業況判断DIは、前回12月調査から▲2%ポイント低下の+5%ポイントと予測する。海外経済減速が下押しとなり、幅広い業種で業況が悪化したとみる。中国で昨年12月にゼロコロナ政策が解除されたものの、生産の回復は遅れており、中国向け輸出の減少が続いている。米欧向け輸出も、金融引き締めを背景に昨年末頃から減速感が強まっている。特に電気機械や生産用機械(半導体製造装置を含む)は、半導体需要の減少を受け、悪化幅が大きいとみられる。一方、自動車は、部品不足緩和に伴う生産回復を受け、業況が改善すると見込む。

大企業・非製造業の業況判断DIは、前回12月調査から+1%ポイント上昇の+20%ポイントと予測する。経済活動正常化に伴う外出関連消費の拡大や訪日外客数の増加を受け、宿泊・飲食サービス、対個人サービスなどを中心に業況が改善したとみる。

先行きの業況判断DI(大企業)は、製造業(+5%ポイント)・非製造業(+20%ポイント)ともに3月時点から横ばいを予測する。製造業では、23年半ば頃まで輸出の停滞が見込まれることから、業況は足踏み状態が続くと予測する。中国経済持ち直しがプラスに作用する一方、米欧経済減速の下押しが強まると想定する。非製造業では、業況回復の一服を予測する。5月に新型コロナの感染症法上の位置づけが5類に移行することや、インバウンド需要の回復はプラス要因だが、電気料金上昇や既往の資源高を反映した調達コストの高止まりが重石となるだろう。

表 日銀短観（2023年3月調査）業況判断DI 予測結果

業種	「良い」-「悪い」 単位：%ポイント	実績		予測	
		2022年 9月	2022年 12月	2023年 3月	2023年 6月
		9月調査 「最近」	12月調査 「最近」	3月調査 「最近」	3月調査 「先行き」
大企業	全産業	11	13	12	12
	製造業	8	7	5	5
	非製造業	14	19	20	20
中堅企業	全産業	4	7	7	6
	製造業	0	1	0	0
	非製造業	7	11	12	11
中小企業	全産業	0	4	3	1
	製造業	▲4	▲2	▲4	▲4
	非製造業	2	6	7	5

注：シャド一部分が2023年3月調査の予測値。「先行き」は、調査時点から3カ月後を表す。
出所：実績は日本銀行「短観」、予測は三菱総合研究所

2. 設備投資計画

2023年度の設備投資計画(全規模・全産業)は、前年比+1.6%と予測する。予測通りであれば3月調査としては22年同時期を上回り過去最大の伸びとなる。

中長期的な視点での投資需要が強く、2023年度も引き続き設備投資は高い伸びで拡大すると見込む。背景として、①デジタル化・脱炭素化に向けた投資、②人手不足への対応、③供給網強靱化を目的とした国内生産能力の増強、が挙げられる。

表 日銀短観（2023年3月調査）設備投資計画 予測結果

単位:前年比%		2020年度	2021年度	2022年度		2023年度
		3月調査 計画	3月調査 計画	3月調査 計画	実績見込み (予測)	3月調査 計画 (予測)
全規模	全産業	▲ 0.4	0.5	0.8	8.0	1.6
	製造業	2.4	3.0	9.0	13.3	9.2
	非製造業	▲ 2.0	▲ 1.0	▲ 4.0	5.0	▲ 3.1
大企業	全産業	1.8	3.0	2.2	11.1	4.5
	製造業	4.3	3.2	8.4	15.8	11.4
	非製造業	0.3	2.9	▲ 1.6	8.4	0.1
中堅企業	全産業	3.3	▲ 3.6	8.2	4.6	7.1
	製造業	7.6	6.4	21.6	14.1	16.9
	非製造業	0.6	▲ 9.1	0.4	▲ 0.8	0.7
中小企業	全産業	▲ 11.7	▲ 5.5	▲ 11.4	0.2	▲ 14.6
	製造業	▲ 9.4	▲ 1.1	▲ 1.0	2.9	▲ 8.0
	非製造業	▲ 13.2	▲ 7.9	▲ 16.9	▲ 1.1	▲ 18.2

注:シャドー部分が2023年3月調査の予測値。土地投資額を含み、ソフトウェア投資・研究開発投資額は含まない。

出所:実績は日本銀行「短観」、予測は三菱総合研究所

本件に関するお問い合わせ先

【内容に関するお問い合わせ】

政策・経済センター 堂本健太 田中嵩大 菊池紘平
電話:03-6858-2717 メール:pecmacro@ml.mri.co.jp

【報道機関からのお問い合わせ】

広報部
メール:media@mri.co.jp